

令和4年度事業報告書		事業所名	訪問ヘルパーセンターしおかぜ	作成者	丸山 順	作成日	R5.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 事業所の良さを知り、介護力をUPさせる。					
		(評価) 内部研修にて介護力UPに取り組んだが、サービス内容に関する苦情もあり介護力がUPすることが出来なかった。					
基本処遇及び運営	■令和4年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画) ①職員に内部研修を振り分け、研究し発表することで介護力アップを図る。						
	②ITを活用した業務作り。						
	③業務分担をしていく。会議研修は担当割をして進行する。(事務所職員)						
	(評価)						
	①内部研修は担当制にし、各担当が研修内容を考える事は出来た。研修までは至っていない。						
	②ITを活用しての業務作りは行う事が出来なかった。						
	③正規職員で業務分担をし、一人がすべてをするという事が無くなり、協力体制ができるようになった。						
研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		参加実績なし。					
		管理者変更に伴い、業務分担を行ったが、各自の業務を行う事が精一杯となり外部研修への参加する意識がなかった。					
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		ヘルパー会議	月1回必ず実施することが出来た。情報交換も行った。				
		事故予防委員会	ヘルパー会議の中で報告し、対策の徹底など行った。				

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	12月		災害時の避難誘導等についての話し合い	実施が出来ていない。

■内部研修報告	
月度	
4月	
5月	接遇マナー:ご利用者様から安心感をもってもらえるように5つの原則(挨拶、身だしなみ、表情、態度、言葉づかい)について学んだ。
6月	認知症研修:認知症ケアには「正解」はないと認識し、気づく力・感じる力を磨く必要があることを学んだ。
7月	倫理・法令遵守:訪問介護の業務はすべて法律で定められていることを認識し、一人ひとりの「守ろう」という意識が大切であることを学んだ。
8月	おしめ交換:特養主任宮邊氏に講師を依頼し人形を使用しておしめ・パット交換、陰部洗浄を方法を学んだ。
9月	
10月	感染症関連研修(9/30実施):うつらない、うつさないための入浴介助と清拭介助の方法を学んだ。
11月	権利擁護・虐待防止研修:動画視聴により虐待の具体例を学んだ。また、ヘルパーに求められることで早期発見や通報義務があることも学んだ。
12月	緊急時対応:動画配信で訪問先で倒れていた場合の対処方法について学んだ。また、訪問先ではヘルパーが一人であるため、自己判断をしないことも徹底した。
1月	介護を受ける人の気持ちを考えよう(12/30実施):介護者のご利用者様の行動などをよく観察し、気持ちに寄り添いその方に在った介護ができるようにすることを学んだ。
2月	口腔ケア:口腔ケアで感染症にかからない・かからせないために何をしたら良いかを学んだ。
3月	1月よりご利用者様にアンケートを実施し集計を行った。

(総評)  
 当初予算に対して81.7%と大幅に未達成となってしまった。利用人数に大きな差はないが身体介護サービスの減少が大きかった。  
 4月より管理者の変更と新しい職員を異動と新規採用とで職員補充を行った。管理者自身も初めての管理業務であり、今年度の目標である役割分担を行うために、業務や書類の見直しを行い、効率化を図ることが出来ました。新しい職員への指導もあわせて行い、当初はご利用者様からの言葉づかいを含めサービス内容の苦情もあったが、解決策を検討しサービス継続に繋げる事が出来た。その反面、利用者確保にまで力が及ばず及ばなかった。管理者が体調を崩してしまい、11月より管理者の変更を行うこととなった。管理者の変更は大きかったが、サービス提供責任者を3名体制にし、3名で話し合いを行いながらの協力体制を気づくことが出来た。  
 IT化に取り組んでいく予定であったが、何をどう取り組んで良いかわからず取り組むことが出来なかった。令和5年度においては必ず取り組んでいきたいと考える。  
 今後においては、利用者確保が課題であり、身体介護のご利用者様の確保を優先として営業活動に取り組んでいきたいと思っております。